

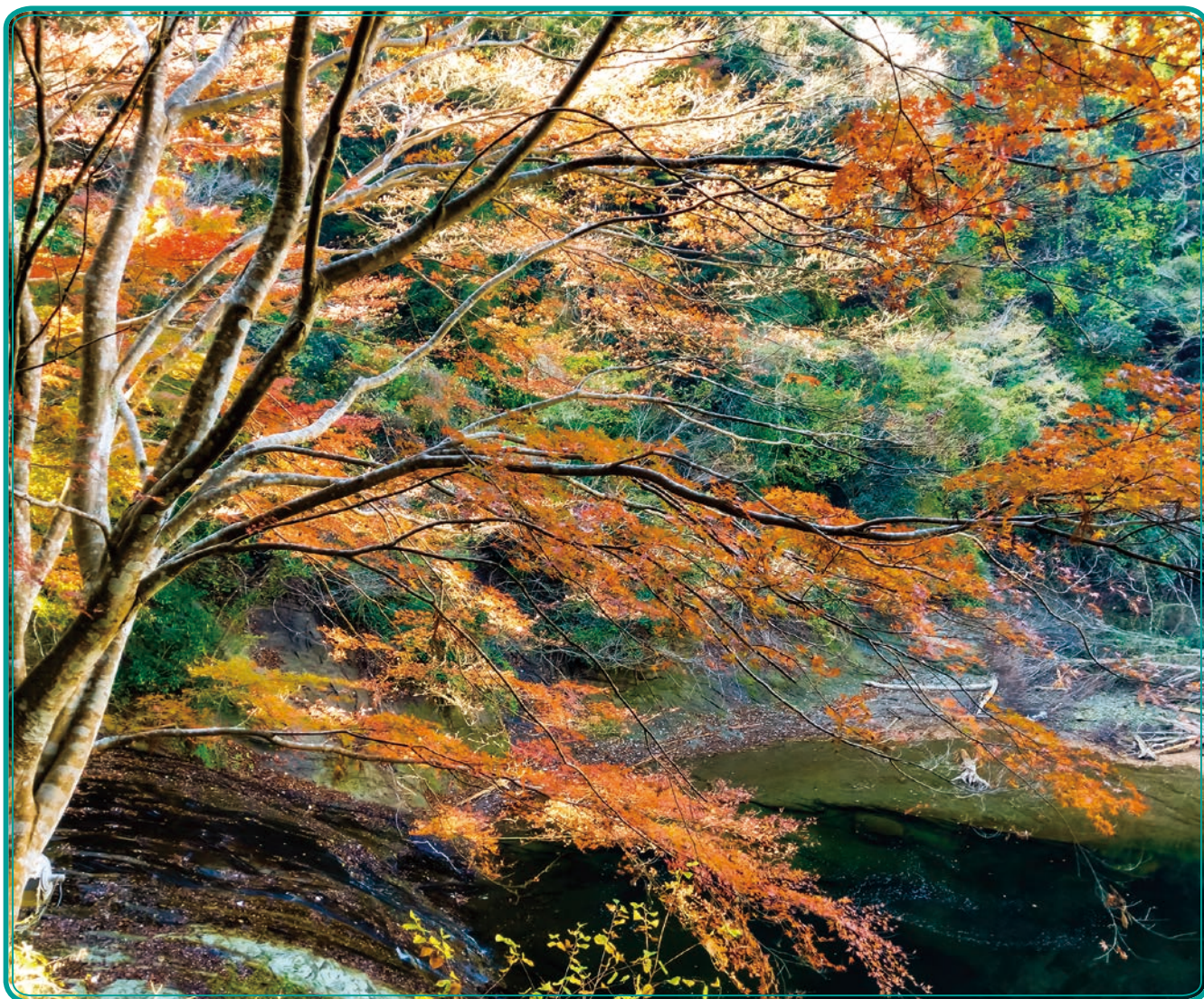
一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2026年10月
第248号

もくじ

巻頭言	2
各部局県士会活動案内・報告	3
お知らせ	10
編集後記	12



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : t.kouketsu@asunarogroup.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.249 12月号 (12月1日頃掲載) ✂切 10月31日
No.250 2月号 (2月1日頃掲載) ✂切 12月31日
No.251 4月号 (4月1日頃掲載) ✂切 2月28日

No.252 6月号 (6月1日頃掲載) ✂切 4月30日
No.253 8月号 (8月1日頃掲載) ✂切 6月30日
No.254 10月号 (10月1日頃掲載) ✂切 8月31日

❖巻頭言❖

☒災害時に問われる、平時のつながり

一般社団法人 千葉県理学療法士会

事務局長 薄 直 宏

令和8年8月13日の千葉豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、困難な状況のなか、地域の医療・介護・福祉を支えてくださった会員の皆様に、深く敬意を表します。本当にありがとうございます。

災害が発生した際、専門職団体である県士会には、地域で何が起こっているのか、会員の皆様や所属されている施設がどのような状況にあるのかを把握し、必要な情報を届ける役割があると考えています。今回、千葉県理学療法士会では、ホームページで災害関連情報を発信するとともに、会員・所属施設等を対象に被害状況のアンケートを実施し、274名の会員から回答をいただきました。回答からは、会員本人の重大な人的被害は確認されなかった一方、自宅や勤務先の浸水、停電・断水、道路冠水や公共交通機関の障害、職員の出勤困難、リハビリテーション提供体制の縮小・停止、訪問車両の浸水など、生活と業務の両面にさまざまな影響が生じていたことが分かりました。

こうした情報は、単なる「被害状況」ではありません。リハビリテーションを提供できないことは、その先にいる患者さん、利用者さん、そして地域で暮らす方々の生活にもつながっています。会員や所属施設の状況を知ることが、地域の状況を知り、県民の皆様への支援を考えることでもあります。

県士会には、皆様から寄せられた声をその時だけの調査結果で終わらせず、必要な情報や関係機関・団体へとつなぎ、次の災害への備えに生かしていく責任があります。そして、そのためには災害が起きてからではなく、平時からの「つながり」が何より重要です。

会員の皆様には、災害時にはまず、ご自身とご家族の安全を最優先にさせていただきたいと思います。そのうえで、勤務先の連絡体制や災害時の行動を日頃から確認し、県士会から状況確認をお願いした際には、可能な範囲で情報をお寄せください。皆様から寄せられる一つひとつの情報が、地域の状況を知る手がかりとなり、次に何が必要なのかを考える力になります。

私たちが掲げる「かかわる・つながる・ひろがる」は、災害対応にも通じます。

平時から互いにかかわり、顔の見える関係をつくる。そこから生まれたつながりが、いざという時に人と情報を結び、必要な対応へとひろがっていく。

今回の経験を振り返るだけで終わらせず、次の備えへつなげていきたいと思います。今回寄せられた情報を検証し、県士会として何ができたのか、何が十分ではなかったのかを振り返りながら、災害時の情報収集・発信のあり方や、関係機関・団体との連携についても整理してまいります。

県民の皆様の生活と、地域で働く会員を支えられる県士会であり続けるために、これからも皆様とともに「かかわり、つながり、ひろがる」歩みを進めてまいります。



❖各部局県士会活動案内・報告❖

☑千葉県理学療法士会表彰式表彰者のご紹介

表彰委員会委員長 藤 井 顕

6月28日千葉県理学療法士会代議員総会開催前に、令和8年度千葉県理学療法士会表彰式を執り行いました。受賞されました皆様をご紹介します。

おめでとうございます

祝 千葉県理学療法士会 永年勤続表彰

永年勤続表彰者をご紹介します。

永年勤続賞は、会員歴30年目以上を有し、理学療法の発展に大きく寄与された23名の方が表彰されました。受賞されました皆様方のこれまでのご功績に心から敬意を表しお祝いを申し上げます。

【永年勤続表彰】

鳥本 茂先生、田中 康之先生、竹内 弥彦先生、安藤 智子先生、柊 幸伸先生、
竹塚 智子先生、後藤 研一先生、斉藤 仁先生、向井 英司先生、村山 尊司先生、
大塚 剛先生、井上 望先生、荒巻 英文先生、大石 敦史先生、藤川 孝彦先生、
市村 智子先生、竹内 康恵先生、佐野奈央子先生、福家 晶子先生、小川 智美先生、
荒木 藤子先生、瀧上 晃弘先生、岡嶋 俊文先生



永年勤続表彰式（左から）

田中康之先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）、後藤研一先生（松戸整形外科病院）、福家晶子先生（千葉西総合病院）、薄直宏会長、大塚剛先生（桜が丘晴山苑）、藤川孝彦先生（国際医療福祉専門学校）

おめでとうございます

祝 千葉県理学療法士会 感謝状表彰

感謝状は、第31回千葉県理学療法学会の高杉大会長（東都大学）ならびに平野準備委員長（東都大学）に感謝状が授与されました。受賞されました皆様方のこれまでのご功績に心から敬意を表しお祝いを申し上げます。



感謝状表彰式（左から）
高杉潤大会長、薄直宏会長、平野康之準備委員長

おめでとうございます

祝 千葉県理学療法士会 特別功労賞表彰

特別功労賞は、千葉県理学療法士会理事、委員長を
通算10年以上にわたり従事し、理学療法士会の発展、
普及に寄与し、格段の功績のあった田中康之先生（千
葉県千葉リハビリテーションセンター）が表彰されま
した。受賞されましたこれまでのご功績に心から敬意
を表しお祝いを申し上げます。



特別功労賞表彰式（左から）
薄直宏会長、田中康之先生



おめでとうございます

祝 千葉県理学療法士会 功労賞表彰

功労賞は、千葉県理学療法士会理事を通算4年以上にわたり従事し、理学療法活動に格段に貢献のあった、西田裕介先生（国際医療福祉大学）が表彰されました。受賞されましたこれまでのご功績に心から敬意を表しお祝いを申し上げます。



功労賞表彰式（左から）
薄直宏会長、西田裕介先生

おめでとうございます

祝 優秀賞表彰

また、新たな会員を迎えるべく、優秀賞は養成校卒業生13名の方が表彰されました。

【優秀賞】（敬称略）

多田 帆南美（植草学園大学）
大田原 瑞紀（国際医療福祉専門学校）
海老原 大亮（国際医療福祉大学）
小作 天斗（城西国際大学）
渡辺 いろは（千葉医療福祉専門学校）
田中 築（千葉・柏リハビリテーション学院）
村田 帆南（千葉県立保健医療大学）
上田 悠莉（帝京平成大学）
下谷 大貴（東都大学）
齋藤 祐太（藤リハビリテーション学院）
山邊 健太（八千代リハビリテーション学院）
吉村 実南（八千代リハビリテーション学院）
児島 楓葉（SBC東京医療大学）

生涯学習局 報告

●生涯学習局より

【後期研修部より】

後期研修部 部長 池田 一樹

下半期は、士会主催症例検討会（後期研修カリキュラムE：領域別事例）を3回予定しています。11月6日は神経、12月11日は内部障害、2027年2月14日は運動器を開催予定です。

また、Cテーマ研修会は、10月20日に「内部障害」、2027年1月29日に「病期別：終末期」を予定しています。

会員所属施設が主催する症例検討会についても、所定の要件を満たすことで後期研修の履修単位として認定されます。各施設での開催についても、ぜひご検討ください。開催申請の方法や士会の承認要件など、ご不明な点がございましたら、県士会ホームページのAI相談窓口、各ブロックのコアメンバー、または後期研修部員までお気軽にご相談ください。

【企画研修部より】

企画研修部 部長 廣居 康博

令和8年度の士会主催更新研修会が開催されています。11月21日に『脳卒中患者のADL障害に影響する高次機能障害の評価と臨床応用―“動作ができない理由”をどう見抜くか。』、『患者さんの「注意」を操作して、滑らかな姿勢制御を引き出す方法―明日から使えるワンポイントアドバイス―』がWeb開催されます。詳細は、千葉県理学療法士会ホームページ内「生涯学習」→「士会主催更新研修会」をご確認ください。また、公式SNSでも随時情報発信しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【卒前卒後教育連携推進委員会より】

委員長 竹内 真太

第32回千葉県理学療法学会において、昨年引き続き「千葉県内理学療法士養成校学術交流企画」を実施することとなりました。卒前の学生の皆さんが研究報告、症例報告、事例報告を行います。会員の皆様にも是非ご参加いただき、温かいご指導をいただければと思います。

☑公益事業局 報告

●第28回日本ボッチャ選手権大会 関東・甲信越ブロック予選会におけるコンディショニングサポート活動報告

障がい者スポーツ支援部 須田 千紘
(エブリー訪問看護ステーション)

第28回日本ボッチャ選手権大会 関東・甲信越ブロック予選会／第6回オープンチャンピオンシップ 関東・甲信越ブロック予選会のフィジオルームにてコンディショニングサポートを行いました。その活動の様子をご報告いたします。

7月24日（金）から7月26日（日）の日程で千葉県ポートアリーナを会場に上記予選会が開催されました。8名の県士会員を派遣し、選手対応を実施しました。

活動内容は、フィジオルームにて日本ボッチャ協会の方にご指導いただきながら、選手に対するストレッチやコンディショニングを実施しました。

近年フィジオルームの認知度も上がってきたとのことで、特に25日（土）はフィジオルームのご利用者が多く、日によって異なりますがスタッフ1人当たり4～10名程度を担当させていただきました。



また、コンディショニングの合間には試合も観戦させていただき、選手の皆様の生き生きとしたプレーを直近で拝見することができました。どちらも普段の臨床ではなかなか経験できず、とても貴重な時間となりました。



今後、県士会としては11月に千葉県障害者スポーツ大会のサッカー・バスケットボールのサポートを予定しております。10月には青森県で全国障害者スポーツ大会も開催予定です。全国障害者スポーツ大会には毎年県士会員を派遣しており、今年も陸上競技に2名、ボッチャ競技に1名派遣予定です。その様子もご報告できたらと思います。

パラスポーツに興味のある方、サポート活動に興味のある方は、サポートスタッフ養成セミナーの受講をお願いしております。毎年2～3月頃に開催していますので、県士会ホームページや協会アプリなどをチェックして是非受講していただき、我々と一緒に活動しませんか？

皆さんのご参加をお待ちしております。



☐一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和8年度 第4回理事会 議事録

日 時：令和8年6月28日（日）9時00分～9時30分

場 所：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信
小川明宏、高橋 聡、大住崇之
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉
山中 玄、高杉 潤、深田 亮
竹内真太、室井大佑、藤井 顕
川村雄輔、小串健志、福家晶子
仲 貴子、井上靖悟

〈欠 席〉森下勝行

〈委 任 状〉なし

〈監 事〉田中康之、児玉美香、松川基宏

〈事 務 局〉奥村龍之、長谷川直子

〈書 記〉江戸優裕

1. 報告

1) 第10回代議員総会について

代議員総会における議案と進行および役割分担について確認された。

第1号議案 名誉会員の承認を求める件

第2号議案 2025年度事業報告・収支決算承認を求める件

第3号議案 定款改正案の承認を求める件

報告 2025年度監査報告

報告 2026年度事業計画・予算報告の件

また、議長団について執行部案が確認された。

議 長：川井誉清氏（松戸整形外科病院）

副議長：高木秀明氏（船橋二和病院）

次回：令和8年度第5回 対面開催

日時：令和8年6月28日（日）

会場：千葉県立保健医療大学

以上

●令和8年度 第5回理事会 議事録

日 時：令和8年6月28日（日）14時20分～15時45分

場 所：千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信

小川明宏、高橋 聡、大住崇之
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉
山中 玄、高杉 潤、森下勝行
深田 亮、竹内真太、室井大佑
藤井 顕、川村雄輔、小串健志
福家晶子、仲 貴子、井上靖悟

〈欠 席〉なし

〈委 任 状〉なし

〈監 事〉田中康之、児玉美香、松川基宏

〈事 務 局〉奥村龍之、長谷川直子

〈書 記〉江戸優裕

1. 審議

1) 市原ブロック長の交代について

2026年7月1日から市原ブロック長が交代することについて、賛成多数で承認された。

交代前：齊藤充郎氏（五井病院）

交代後：木本龍氏（帝京大学千葉医療センター）

なお、ブロック長は代議員であることが原則となっているが、市原ブロックでは候補者の選出が困難であったため非代議員である齊藤氏が2027年3月31日までの任期でブロック長を務めてきた。木本氏も非代議員であるため、任期は変更せず2027年3月31日とすることが確認された。

2. 報告

2) 経費精算の方法について

経費精算の方法について、会計士からの助言を踏まえて業務円滑化のために精算書類はデータで証憑チェック班に提出する流れとすることが報告された。各部局やブロックへの周知と運用については、別途資料を配信するとともに担当理事が連携を取っていくことが確認された。

3. 協議

3) 千葉県リハビリテーション専門職協会の研修会の広報について

今年度開催予定の千葉県リハビリテーション専門職協会の研修会と第45回関東甲信越ブロック理学療法士学会の日程が重複しており、参加者の分散が懸念されることから、双方にとって不利益のない広報の方法について協議された。

4) 公益・職能の重点検討について

公益・職能の活動方針を重点的に検討する必要性について提案され、公益事業局および職能局理事のワーキンググループで意見交換して三役会に提案することが協議された。

5) その他

- ・各局でのTeams利用状況や資料の共有方法について意見交換された。
- ・公益事業局の理事増員の必要性について確認され、江戸理事が事務局から異動することが報告された。また、現在整備しているブロック主催企画の区分分け等と併せて、公益事業におけるブロックの関わりについても整備が必要であることや、介護予防推進リーダーの活用やブラッシュアップの仕組みづくりが必要であることが協議された。公益、職能、学術の連動と連携についても意見があった。
- ・理事会の活動内容の公開について意見があった。
- ・管理者ネットワーク、災害対策委員会の現状と展望について意見があった。

次回：令和8年度第6回 WEB開催

日時：令和8年8月14日（金）

会場：WEB

以上

●令和8年度 第6回理事会 議事録

日 時：令和8年8月14日（金）19時00分～21時30分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信
小川明宏、高橋 聡、大住崇之
金子達哉、山中 玄、高杉 潤
深田 亮、室井大佑、藤井 顕
小串健志、江戸優裕、福家晶子
仲 貴子、井上靖悟

〈欠 席〉田中康之（監事）

〈委任状〉森下勝行、竹内真太、桑江 豊
川村雄輔

〈監 事〉児玉美香、松川基宏

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉金子達哉

1. 協議

1) 豪雨災害に伴う災害対策本部の設置および会員の被災状況把握・支援対応について

8月13日の豪雨災害を受け、理事会開催前に三役主導で災害対策本部を設置したことが報告され、今後の対応が協議された。全会員を対象にフォームを用いて本人・家族・勤務先等の被災状況や支援ニーズを把握し、集約状況を踏まえて次回の災害対策本部を開催する方針となった。

2) 定款・規程検討委員会：会員推薦規程等について

各種機関等からの依頼に対する会員推薦の基準・手続き、派遣時の報酬、運営スタッフの取り扱いおよび資料の外部公開に関する4規程案について協議された。文言修正等の意見を踏まえて規程案を修正し、次回以降の理事会で審議する方針となった。

2. 審議

3) 公益事業局主催研修における経費の組み換えについて

在宅医療・介護支援部が実施する「持ち上げないケア研修」について、当初計上していた会場費・講師料等の一部が不要となる一方、実技研修用福祉用具のレンタル費が必要となったことから、予算の組み替えが提案された。2社から相見積もりを取得し、より安価な福祉用具会社を利用することを含め、予算をレンタル費へ組み替えることが賛成多数で承認された。

4) 地域活動支援本部：登録理学療法士未満の講師に対する謝金について

9月12日の新入会・復会促進セミナーで実施する「世代別のキャリアを語るシンポジウム」のシンポジスト4名のうち1名が登録理学療法士未満であることから、謝金の取り扱いが審議された。5月開催の新入会促進セミナーでの前例を踏まえ、当該講師を内部講師Bとして取り扱い、謝金を支給することが賛成多数で承認された。

5) 東葛南部ブロック：非会員が参加する企画について

10月30日に開催予定の障害者スポーツ体験会について、会場校の学生が参加表明をする可能性があることから非会員（学生、理学療法士）の参加を認めることが審議された。年度事業計画として企画自体は承認済みであることが確認され、学生および非会員理学療法士の参加を認めることが賛成多数で承認された。

6) 定款・規程検討委員会：定款関連規程について

代議員総会で承認された定款変更に伴い、ブロック

規程、会員規程、学術大会運営規程、緊急時対応規程、役員等解任規程、理事の職務権限規程について審議された。日本理学療法士協会の規程体系を踏まえ、定款細則として一括していた内容を各規程へ整理したこと、名誉会員の年齢要件を削除したこと等が説明された。

学術大会運営規程の学生筆頭演者に関する規定について、会員である指導教員の共同演者・発表時同席の取り扱い等に意見が出されたが、現行案で運用し今後必要に応じて見直すことを前提として、関連規程案が賛成多数で承認された。

7) 新規入会者の承認について

5月分の未承認11名、6月53名、7月21名の計85名の新規入会者について、賛成多数で承認された。

3. 報告

8) 会長行動録

令和8年6月17日～8月14日までの会長行動録および三役局長会議の結果が報告された。

9) 事務局報告

事務局より以下8点が報告された。

- ①県士会ニュースの進捗について：8月号をHPに掲載済。
- ②新入会・復会促進研修会について：9月12日に開催予定。出席理事の交通費・日当については事務局から別途案内し、出欠回答を依頼。
- ③理学療法月間のコラボ企画関連について：企画は終了し、SNSやHP等で発信するための準備を進行中。
- ④証憑チェックについて：概ね確認を終了し、修正が完了したものから順次振り込みを実施。次回以降は必要書類と確認方法を改めて周知し、翌月末までの支払いを目標とする。
- ⑤役員研修会について：講師との調整を進め、ミッション・ビジョン・バリュー等の共通理解を深める講義とグループワークを含む2日間のプログラムを検討中。
- ⑥斉藤協会長との中央情勢報告会について
9月30日（水）18時から対面開催予定。
- ⑦イベント申込システム（Payvent）について
会員募集等に活用するため、近日中に契約し、利用方法を周知する予定。
- ⑧広報管理について
HP上の事業終了後の不要な告知等について、事務

局・広報で確認し、不要と判断した記事は事務局判断で削除する運用とする。

10) 公益事業局報告

公益事業局より以下4点が報告された。

①アウトカム検討事業について

子ども・成人・高齢者を対象とした資料作成を進めるためワーキンググループで検討中。時間的な制約から、今回アンケート作成は行わずパンフレット作成に注力する。

②中学校体育連盟との連携について

高校野球への支援を契機として中学校の部活動全体に関する相談があり、必要な支援内容を確認した。次年度以降の関わり方や実施の可否を整理し、次回理事会で協議または審議する予定。

③障害者区分判定研修会について

諸事情により今年度は中止となり、既に承認されていた派遣・活動費等は執行しない。

④ポッチャ大会について

障がい者スポーツ支援部員および公募者を派遣し、予定していた対応を終了した。現在、謝金等の手続きを進めている。

11) 生涯学習局：新入会促進セミナーの進捗状況について

9月12日開催予定の新入会・復会促進セミナーについて、HPへの開催案内掲載、アプリ・SNSでの発信、新入会関連セミナー参加者および施設管理代表者へのメール配信等を実施していることが報告された。当日は理事にも受付、会場案内、機材操作等の運営協力を求め、出欠確定後に役割分担を共有する予定であることが報告された。

12) 第32回千葉県理学療法学術大会：大会の進捗について

演題募集は8月17日12時から開始することとし、採点表の調整、座長候補者の選定、演題サポート用入力フォームのHP公開等を進めている。広報では大会準備委員の紹介動画をHP・SNSで発信し、ポスターは運営会社経由で8月21日に投函予定であること等、順調に準備中であることが報告された。

次回：令和8年度第7回理事会

日時：令和8年9月11日（金）19時

会場：千葉県理学療法士会事務所（ハイブリッド開催）

以上

❖お知らせ❖

◆第32回千葉県理学療法学術大会

●皆様のご参加・ご発表をお待ちしております！



学術局長 深谷 泰山
(城西国際大学 助教)

2027年2月28日に開催される第32回千葉県理学療法学術大会の学術局を担当させていただいております深谷と申します。今大会では、「理学療法の、その先へ—AI時代にひらく“支える”と“満たす”理学療法—」をテーマに今までの取り組みを継承しつつ、新しいことにも取り組む予定となっております。

○特別講演やシンポジウムには、講師に理学療法士ではない他分野の先生や千葉県内でご活躍されている先生をお招きして、今後の理学療法についてお話していただく予定です。

○一般演題およびビギナーズ演題には、口述発表に加え、新たにポスター発表を導入しました。また、セッション毎に優秀と思われる演題に対しては記念品を授与することを予定しております。さらに、今大会より養成校の学生による一般およびビギナーズ演題での発表も可能となりました。皆様の発表が有意義なものになるように準備を進めておりますので皆様のご発表をお待ちしております。

○THINK systemは発表が初めての方や不安な方に対して実施している発表支援システムです。今大会も学会発表の経験が豊富な学術局員が複数の視点から発表に至るまでを支援しますので、ご活用ください。

○昨年に引き続き、公募型企画セッションも実施します。理学療法に関連するテーマで、理学療法の専門性や多様性、他分野との連携に関する知見を深めることを目的としており、主体的な企画を実施することが可能です。

○一般演題、公募型企画セッションの応募締め切りは10月18日までとなっております。

本大会では、上記のように様々な企画や取り組みを予定しております。発表者や参加者の方々に「学会に来て良かった」、「学会で発表して良かった」と満足していただけるよう準備を進めております。皆様のご参加、ご発表をお待ちしております！

随時、SNSで各種情報が発信されておりますので是非ご覧ください！

●第32回千葉県理学療法学術大会 公式SNSアカウント情報



HP



X



Instagram



Facebook

●HP：<https://www.chibapt32.jp>

●X：https://x.com/CPTA_32

●Instagram：https://www.instagram.com/cpta_32/

●Facebook：<https://www.facebook.com/profile.php?id=61554283681845>



●千葉県理学療法士会 公式SNSについて

事務局担当 理事 金子 達哉

千葉県理学療法士会では、会員の皆さまへの情報発信をより迅速かつ身近なものとするため、各種公式SNSアカウントを開設しております。

研修会・学術関連情報、県士会活動の報告、各種お知らせなどを発信してまいります。

会員の皆さまにとって、必要な情報をより受け取りやすい環境づくりを目指してまいりますので、ぜひご登録をお願いいたします。



X

<https://x.com/cbpt1971>



Instagram

<https://www.instagram.com/chibapt1971/?hl=ja>



Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61579494421987>

❖ 編集後記 ❖

●千葉県理学療法士会活動について

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

涼しい日も増えてきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。

いつも県士会ニュースをご覧いただき、ありがとうございます。

さて、今号の巻頭では、8月に発生した千葉豪雨と、その際の県士会の対応について取り上げられています。災害が発生した時、県士会として何ができるのか。そして、会員の皆さまとどのようにつながり、支え合うことができるのか。今回の経験は、改めて県士会という組織の役割を考える機会になったのではないかと思います。

また、今号では県士会表彰を受賞された皆さまをご紹介します。長年にわたり理学療法士として、そして県士会活動を通じて、千葉県の理学療法の発展に尽力されてきた方々に、心より敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

に、お祝いを申し上げます。

県士会の活動は、これまで多くの方々が時間と労力を惜しまず活動に携わり、その積み重ねによって現在の県士会があります。

普段、私たちはそれぞれの職場や地域で活動しているため、県士会との関わりを意識する機会は多くないかもしれません。しかし、今回のような災害時の対応や、さまざまな事業を通じて改めて感じるのは、人と人とのつながりが本当に重要だということです。

県士会ニュースも、そのつながりを少しでも感じていただけるよう県士会の活動を分かりやすくお伝えしていきたいと思います。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和8年10月31日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ

<http://www.chiba-pt.org/>

- 求人広告のお申込・お問い合わせ

chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

- ニュース編集部

部長 纈 纈 琢 磨

t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 薄 直 宏

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail t.kouketsu@asunargroup.jp